

学校の教育目標

やさしく 思いやりの心もち
仲良く助け合う子

かしこく よく考え
創り出す子

たくましく 心と体を
きたえる子

児童の実態

学習の流れが分かり、覚えた言葉を使って進んで話そうとすることができる。
ALTの発音をよく聞いて、まねしようとする
ことができる。
ゲームやクイズ等に積極的に取り組み、楽しく活動できる子が多い。
低学年においては、英語の時間を楽しみにしている児童が多い。
分からないことを尋ねる子が増えてきた。
自分の思いを相手に伝えるための意欲や表現力が弱い。

願う児童の姿

- ・覚えた英語で、自分の思いをはきはきと表現する子
- ・身近な英語に触れて、歌や遊びなどの活動を仲よく楽しむことができる子
- ・簡単な英語で活動をしながらか、聞いたり話したりするやりとりを誰とでも楽しむことができる子
- ・簡単な英語で、気持ちや考えを伝え合うことを誰とでも楽しむことができる子

研究主題

楽しく学び、豊かに自己を表現し、進んで人とかかわろうとする子を育てる英語活動
～楽しい英語活動を求めて～

研究仮説

身近な英語を使った歌や遊び・ゲームなど、子どもたちが興味をもち、仲間とかかわり合える活動を設定し、題材計画や活動を工夫して的確な指導・援助をすれば、子どもたちが楽しく学び、豊かに自己を表現し、進んで人とかかわろうとすることができる。

研究内容 1

【英語活動の年間指導計画の工夫と改善】
題材の配列、語彙、文型における他の学年とのかかわり
発達段階に応じた活動の開発

研究内容 2

【楽しく学び、コミュニケーション能力を高める活動展開及び指導・援助のあり方】
実態を生かした英語活動の工夫
活動を高める指導・援助のあり方

研究のベース

- ・基本的な生活習慣と学習習慣の定着
- ・学級経営・教室経営の充実(「心の花」など人とかかわり活動重視)
- ・英語活動の環境づくりの向上(掲示・English Friday・教材の開発等)

*「心の花」...児童同士、または、教師から児童という形で見つける「よさみつけ」のこと

(2) 研究組織

研究推進委員会・・・村瀬、古田、春日、教務、教頭、校長
研推長は、研究全体の推進を行う。

(3) 研究計画

- 1年次・・・英語活動の年間指導計画の作成と楽しく学ぶ基本的な活動過程の確立
- 2年次・・・豊かなコミュニケーション能力を高める英語活動の工夫
- 3年次・・・豊かに自己を表現する英語活動の工夫・改善**
- 4年次・・・進んで人とかかわろうとする英語活動の工夫・改善と評価のあり方